

地域の外国の人たちとの文化やモノづくり見学会の実施結果

目的	・急増する新しい外国の人々と共に東大阪の文化やモノづくりの現地を巡り、地域の良さを知ってもらいながらアンケート等により、自分達の文化に対する思いや彼らの悩みなどを把握する。 ・その成果を四半世紀に及ぶ「東大阪国際交流フェスティバル」の新しい展開に生かすとともに、文化を通じた多文化共生社会の実現をめざす。
内容	・東大阪市内の歴史・文化やモノづくりを体験できる見学会コースを設定し11月に2コース（記念館コース、モノづくりコース）で実施。2022年度2月にも2コース（ラグビー場コース、石切神社コース）を予定したが、新型コロナウイルスの急拡大により中止となった。 ・第1回「記念館コース」 2021年11月3日（祭日/水）近鉄八戸ノ里駅集合 ：司馬遼太郎記念館、おもちゃ博物館 ZUNZO（サブローごまデザイン体験、デザインコンテストへの応募）、喫茶美術館（喫茶美術館でアンケート実施など交流会開催） ・第2回「モノづくりコース」 2021年11月20日（土）JRおおさか東線長瀬駅集合 ：松下工作所＜金属溶接業＞、三島硝子建材＜窓サッシ製作業＞（三島硝子建材での東大阪のモノづくりの説明やスマホスタンド工作、アンケート実施など交流会開催） ※第3回、第4回については新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により中止 ・第3回「ラグビー場コース」2022年2月11日（祝/金） 近鉄花園駅集合 ：花園ラグビー場、市民美術センター、吉田神社、ラグビーロード（花園ラグビー場でアンケート実施など交流会開催予定） ・第4回「石切神社コース」2022年2月19日（土） 近鉄石切駅集合 ：旧石切トンネル、石切神社、石切参道商店街、河内木綿はたおり工房（河内木綿はたおり工房でアンケート実施など交流会開催予定）
成果 （アンケートやインタビュー結果から）	・記念館コース等地域の良いところを外国人に紹介する見学会企画は効果が大きい。 ◆見学会を通じた国際交流はとても良い方法(アンケート回答100%) ◆地域の良いところを知ることは労働や勉強に役に立つ(〃100%) ◆モノづくりコースで工場や外国人労働者の様子を知り交流ができ大変面白い(〃100%) ・東大阪国際交流フェスティバルの新しい展開に役立つ情報を得た。 ◆自分たちの国の自慢できる文化について日本人にも知ってほしいとの願いを参加者のほぼ全員が持っていたこと。 ◆広めたい自国の文化として「ベトナムの旧正月・食文化、踊り、人情」等を把握できたこと。
今後の取組	・見学会の成果について検討を進め、文化を通じた国際交流を進めていく。また、2022年のフェスティバルにもつなげていくこととしている。 ・参加外国人の様々な悩み（「日本語が難しい」「40%の人は地域とのつながりが無い」等）について、他のNPO法人とも連携した取組を進めていく。